

事務事業マネジメントシート(令和 3年度実績と令和 4年度計画)

令和 4年12月 8日更新

事務事業名	ハンセン病問題啓発事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	3 教育の健康	所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	森田 健二
	施策	12 人権が尊重される社会づくり	所属課	人権啓発教育課	担当者名	高野 和子
	施策の柱	43 人権尊重についての理解と相談体制の充実	所属班	啓発教育班	(内線)	5 3 3 4
予算科目	会計一般	款 3 項 1 目 8 事業連番 10860 根拠法令	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 3年度で終了 <input type="checkbox"/> 3年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 9 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	例年、ハンセン病を正しく理解する週間に合わせて講演会等の催しを実施し、併せて菊池恵楓園から借用したパネル展示などを行っている。平成8年の「らい予防法」の廃止を受け、平成9年、ハンセン病問題に対する正しい知識の普及・啓発と、療養所入所者・市民の相互交流をより促進するために開始した。取り組みを始めた頃と比べると、市民のハンセン病問題に対する理解は深まってはいるが、人権意識市民アンケート調査ではハンセン病問題の詳細を知らない人もまだまだ多いことから、市民に対する理解と啓発を進めていく必要がある。平成29年度より、社会福祉法人ふれあい福祉協会のハンセン病対策促進事業を活用しながら実施しており、令和3年度(令和元)年度は2月1日に啓発イベント「人権フォーラム2020 in 合志市」を開催。令和2年度もこの事業を活用することとしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため集会型イベントができなくなったため、DVD「あつい壁に虹のかけ橋を」を150部制作し啓発を行った。令和3年度においても新型コロナウイルス感染症の再流行があったため、例年厳寒期に予定しているイベント開催を見送り、漫画版啓発パンフレットの作成・配布による啓発活動に代替した。
【業務の流れ】	①社会福祉法人ふれあい福祉協会に対しハンセン病対策促進事業として「漫画版啓発パンフレット作成」について申請し、協議を行う。②菊池恵楓園入所者自治会及び市クリエイター塾(委託先)と企画内容を協議。③関係各者(菊池恵楓園入所者自治会・県庁・学校・市教育委員会)による原稿の校正。④印刷・製本。⑤区長便や各小中学校を通して配布。⑥関係機関へ送付し利活用を依頼。⑦職員研修の一環として活用。 ※平成29年度より、社会福祉協会ふれあい福祉協会へのハンセン病対策促進事業の事務手続きを行っている。
【主な予算費目】	役員費
【意見や要望】	令和3年4月に菊池恵楓園内旧菊池医療療務支所跡地に合志市立楓の森小学校・楓の森中学校が開校したばかりであるので、これを機に若い世代に、ハンセン病とはどんな病気であるのか、自分達がどのような歴史を持つ地域で暮らしているのか、正しい知識や認識を広めていきたい。また、子ども向けの漫画版パンフレットは大人にも分かりやすいものであるから、一般市民への啓発もより深めたいところである。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 3年度実績(3年度に行った主な活動)(DO)	ハンセン病問題の啓発を行い、正しい知識を広く、差別や偏見を無くす活動を実施。例年は啓発イベント「人権フォーラム」を開催しているが、令和2年度・令和3年度はコロナ禍によりできなかったため、代替事業を行った。令和3年度 漫画版啓発パンフレットを3万部作製し市内全世帯・全小中学校に配布。作成費用2,498,100円は社会福祉協会の助成で全額賚った。令和2年度 啓発DVD150部を制作し関係機関へ配布したほか、職員研修に活用。製作費用2,499,200円は、社会福祉法人ふれあい福祉協会の助成で全額賚った。 【基準に達しなかった理由】 コロナ禍によりハンセン病啓発イベント「人権フォーラム」を中止したため。	4年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
ア: 講演会等の開催回数	→	
イ: 参加者数	→	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位) 人	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民	→	ア: 人口
市内事業所社員等	→	イ: 市内従業者数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位) %	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
ハンセン病問題を正しく理解してもらう。	→	ア: 正しく理解した参加者の割合
	→	イ:
*③成果指標設定の理由と 4年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
参加者にハンセン病問題を正しく理解してもらうことが目的のため。		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	31年度実績(決算)	2年度実績(決算)	3年度目標(当初予算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	5年度予定	6年度見込	7年度見込	
① 活動指標	ア 回		1	0	1	0	1	1	1	1	
	イ 人		550	0	600	0	600	600	600	600	
② 対象指標	ア 人		62,707	63,189	63,600	63,841	64,614	65,500	66,391	67,270	
	イ 人		18,187	18,187	18,000	18,187	18,000	18,000	18,000	18,000	
③ 成果指標	ア %		100	100	100	100	100	100	100	100	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円			200					
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	27	28	67		267	267	267	267
		(A) 事業費計	千円	27	28	267	0	267	267	267	267
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	4	4	6	4	6	6	6	6
延べ業務時間	時間	500	500	300	300	300	300	300	300		
(B) 人件費計	千円	1,981	1,971	1,195	1,173	1,195	1,195	1,195	1,195		
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,008	1,999	1,462	1,173	1,462	1,462	1,462	1,462		

事務事業名	ハンセン病問題啓発事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	人権啓発教育課
-------	-------------	-----	-------------	-----	---------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は3年度の事後評価、ただし複数年度事業は3年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 3年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 市民の関心や反応が良く、理解の促進が図られていることがうかがえる。
	② 4年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 新型コロナウイルス感染症等の状況を見ながら事業内容を検討する予定である。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 市民・職員の理解促進は図ることができている。さらなる向上を目指す。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 啓発事業を推進するうえでは、最小限の事業費であり、これ以上の削減はできない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の人数で対応している。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 すべての市民がハンセン病問題を正しく理解することが必要であるという前提で企画・実施しており、公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 人権問題啓発は行政の責務であり、役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

漫画という表現方法を通して若い世代にアピールする啓発資料を作成した。今後も内容と周知方法に工夫をして、より多くの市民にハンセン病問題を正しく理解できる機会の提供に努めた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						